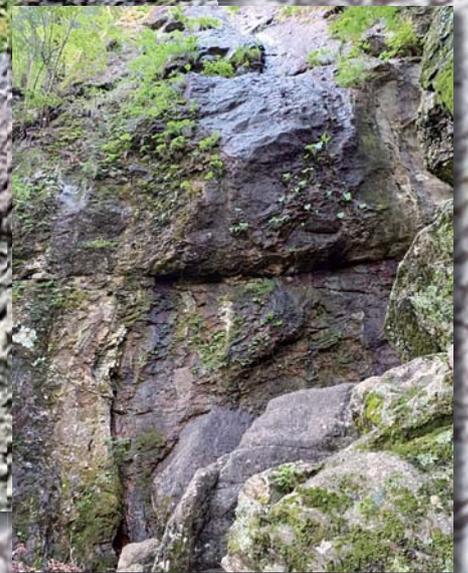




議会だより

とらえい



(登山口を登ってすぐの
右手にある女滝)

CONTENTS

新体制スタート.....	P2
3月定例会概要報告.....	P3
一般質問ダイジェスト.....	P4-5
町議会を傍聴しませんか／編集後記.....	P6

明神不動滝

横約50メートル
縦約30メートル
滝の左側に不動様が、右側には祠
が祀られている。
8月末日に地区でお祭りしていた
が、8月第1日曜日に変わり、今
では高齢化が進み、入り口にしめ
縄をはり、お祭りとしている。

東栄町議会

新体制スタート

4月の東栄町議会議員選挙後、初めての議会臨時会が5月7日に開催され、議長には原田安生議員、副議長に伊藤紋次議員が選ばれました。
各委員会、監査委員等の構成は次のとおりです。

議長あいさつ

原田 安生



この度の町議会議員選挙において、多くの町民の皆様にご支援を頂き、6期目を迎えることとなりました。心より感謝を申し上げます。

41歳で初当選させて頂き、はや20年、東栄町の発展のため取り組んでまいりましたが、環境の変化、時代の変化を感じています。

議会議員も8名になり、新体制での、初議会において議長の職を拝命しました。議長として、常に中立の立場を堅持し、活発な議論のできる議会を目指し、町の発展に努めてまいります。

さて、令和という新たな時代を迎え、明るい東栄町になるよう望みながら、医療、福祉、少子高齢化、若者定住など、ここ数年連続く様々な課題に真剣に取り組んでいかなくてはなりません。

最近、Uターン、Iターンの方が増加傾向です。また、ここ数年の成人式の自己紹介の挨拶でも「いずれは東栄町に帰って来ます」という言葉を聞くことが多くなりました。非常に良い事と思います。この気持ちを持った若者、町民の皆様が「東栄に住んで良かった」と言えるようなまちづくりを進めなくてはなりません。

町執行部と共に明るい未来を目指して取り組んでまいります。どうか今まで以上に皆様方のご支援ご指導を賜りますようお願い致します。

副議長あいさつ

伊藤 紋次



新元号、定数改定、改選により刷新されました令和初代の副議長の要職に選任され、身に余る光栄とその責務の重大さを痛感しております。

副議長の経験を生かし、議長の補

佐役はもとより、公平・公正・円満な議会運営に努め、県及び他市町村議会とも連携・協調を図り、微力ながら職責を果たしたいと思っております。

身の丈に合った行・財政の推進、安全・安心・活力のあるまちの創生にも取り組みます。

併せて、町民の皆様と行政と議会の調整・緩衝役も担いたいと思っております。

皆様の厳しくとも温かいご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

議長 原田安生
副議長 伊藤紋次

議員 伊藤芳孝
議員 山本典式
議員 森昭夫
議員 浅尾もと子
議員 加藤真千子
議員 伊藤真千子
議員 伊藤真千子

総務経済委員会

防災・観光・地域づくり・道路・水道関係などについて討論をします。

文教福祉委員会

健康保険・福祉・環境衛生・教育関係について討論をします。

議会運営委員会

議会を円滑に運営するため、日程の調整や進行の確認を行います。

- 委員 山本典式
副委員長 伊藤紋次
委員 伊藤芳孝
委員 伊藤真千子
委員 加藤真千子
委員 伊藤真千子



3月定例会概要報告

3月定例会が、3月5日から15日まで11日間の会期で開催されました。

定例会では、提出された議案等を慎重に審議し、いずれも原案どおり可決しました。

上程議案

東栄町森づくり基金の設置及び管理に関する条例の制定	全員賛成 可決	平成30年度東栄町簡易水道特別会計補正予算（第3号）	全員賛成 可決
東栄医療センター特別会計設置に関する条例の制定	全員賛成 可決	平成30年度東栄町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成 可決
東栄町保育所設置条例の全部改正	全員賛成 可決	平成30年度東栄町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成 可決
東栄町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成 可決	平成30年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算（第5号）	全員賛成 可決
東栄町職員の定年等に関する条例の一部改正	全員賛成 可決	平成31年度東栄町一般会計予算	賛成多数 可決 反対1
東栄町国民健康保険東栄病院施設整備費積立基金の設置管理処分に関する条例の一部改正	全員賛成 可決	平成31年度東栄町国民健康保険特別会計予算	全員賛成 可決
東栄町新築住宅に対する固定資産税の減免条例の一部改正	全員賛成 可決	平成31年度東栄町後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成 可決
東栄町医療・介護職等修学資金貸与条例の一部改正	全員賛成 可決	平成31年度東栄町簡易水道特別会計予算	全員賛成 可決
東栄町国民健康保険条例の一部改正	全員賛成 可決	平成31年度東栄町公共下水道事業特別会計予算	全員賛成 可決
東栄町看護師就職支度金貸与条例の一部改正	全員賛成 可決	平成31年度東栄町農業集落排水事業特別会計予算	全員賛成 可決
東栄町立保育園外構工事請負契約の変更	賛成多数 可決 反対1	平成31年度東栄町医療センター特別会計予算	賛成多数 可決 反対1
愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	全員賛成 可決	平成31年度東栄町各財産区特別会計予算	全員賛成 可決
新城北設交交通災害共済組合規約の変更	全員賛成 可決	東栄町議会予算特別委員会の設置に関する決議（案）の提出	全員賛成 可決
設楽町つぐ診療所で行う理学療法に関する事務の受託	賛成多数 可決 反対2	東栄町公共施設の暴力団排除に関する条例の一部改正	全員賛成 可決
平成30年度東栄町一般会計補正予算（第8号）	全員賛成 可決	平成30年度東栄町一般会計補正予算（第9号）	全員賛成 可決
平成30年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成 可決	農協改革に関する意見書の提出を求める請願	全員賛成 採択
平成30年度東栄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	全員賛成 可決	農協改革に関する意見書（案）の提出	全員賛成 可決
		議会運営委員会の閉会中の継続審査	全員賛成 可決

当初予算に対する討論

▼一般会計予算

（約31億4千万円）

（賛成8人、反対1人で
原案可決）

反対討論

（森田昭夫議員）

必要最小限の骨格当初予算でありながら、基金（貯金）を取り崩し、起債（借金）しなければ予算が組めない。「事業を見直し、財政の健全化を図る」とは言葉だけで、実質何もやってはいないことになり反対する。

賛成討論

（加藤彰男議員）

4月に行われる町長・議会議員選挙を踏まえた骨格予算であるが、4月に開園する新保育園の運用費用、有床診療所としてスタートする医療センターへの繰り出し金、高齢者福祉を進める老人福祉費、中学校改修工事費など、子供からお年寄りまで必要不可欠な予算であり賛成する。

▼医療センター

特別会計予算

（約6億6千万円）

（賛成8人、反対1人で
原案可決）

反対討論

（森田昭夫議員）

診療収入に対し人件費率が高すぎる。給与と職員数の適正化を図るべき。維持管理費も、電子カルテ保守料1千1百万円、X線保守料4百万円、インターネット回線使用料4百万円など公金で経営する医療施設であり、この町に見合った設備と規模にすべきであり反対する。

賛成討論

（村本敏美議員）

地域医療を守るためにも、医療機関を残してほしいという強い要望もある。4月から診療所としてスタートするが、診療内容は今までと変わりがないので賛成する。

加藤 彰男 議員

役場の労働環境・条件はどう改善されたか ～職員の働きがいと元気が「住民サービス」を高める～

問 これまで「タイムカード」による時間

外勤務を含む労働時間の管理「業務や事業の見直しによる職員の適切な配置と過重労働の軽減」「労働条件などの改善のため外部サポートも含めたプロジェクト設置」などを提起してきた。約1年半で、どのように改善されたか。

①「タイムカード」による時間管理と適切な残業手当（時間外勤務手当）の対応はどうか。
②「慢性的な長時間労働」「個々の職員への職務分掌の偏在」は、業務の再編、事業の再評価、事業計画の中間の見直しが必要であるが、どうか。
③「休憩室の確保」「休憩時間の保障」「適切なシフト」の検討はどうか。

④新保育園の長時間保育の「早出」「遅番」のシフト体制で、保育現場のコミュニケーションはできているか。

答 総務課長

①時間管理は総務課長が最終的に申告あった時間外勤務の労働時間とタイムカードを確認して、時間外手当を支給している。
②3年間同一の業務を行った職員は自己申告書により他への人事異動希望を提出して、これを考慮し人事異動を行っている。外部サポート、プロジェクトも検討し、労働環境・条件の改善に努めたい。
③役場本庁舎・分庁舎に休憩室はない。自分の机や空いている会議室等で休憩をしている。今後休憩時間を確保するための

勤務シフト（交代制）を検討したい。
④新年度の保育園の勤務体制は関係法令等を遵守して、現場職員と相談、検討し決めている。

問

今後はタイムカードを時間管理、時間外勤務の管理に活用することによりか。昼の時間はシフトを組んで窓口対応をおこない、会議室の活用も含めて、「勤務時間」から離れて自由時間として法に定められる休憩を取っていく必要がある。

答 総務課長

総務省の「労働時間適正な把握のためのガイドライン」に沿って、時間管理をシステムで行うように考えたい。シフトは

組みやすい課でシフトを検討して、その後、役場全体のシフトを考えたい。

問

総務省が出している『地方公共団体の職場における能率向上に関する研究会』報告書では、近年の特徴として「地方分権改革」「平成の合併」「地方の行政改革」、この3つを挙げて、自治体の職場を『地方自治体の部・課は、相変わらず各省庁のタテ割りの組織に基本的に編成されている。課長の下に、担当課長、副課長、課長代理、課長補佐等が複雑に配置される一方、事務をこなす係員はかつての半分以下の数にとどまり、業務ごとに異なる上司の指示を受けている。同じ職場の中で再任用職員、非常勤職員など多様な任用形態の職員、…が一緒に仕事をしている。…電子決裁が導入されてから、決裁に上司の手が入ることが稀になった。毎日のように残業をせざるを得ない職員と、ほぼ定時に帰宅する職員と混在しているが、同じように給与水準は引き下がられて、同じように昇任のスピードは遅い』と表現して、これからの自治体は「明確なビジョンに基づく行政経営」「成果指向」「行政効率」が必要と述べている。ぜひこの研究会の報告書を役場職員で共有化して欲しい。

答 総務課長

総務省の報告書は各課に配信させていただく。今後これを検討していきたい。



<東青町役場・本庁舎>

医療センター等 開所について

問 医療センター等の開所が、1年先送りになったことについて各協議会の意見はどうであったか。

答 住民福祉課長
設楽町、豊根村は「入院機能がある方が望ましい

いが、東栄町の判断を尊重したい」、郡医師会長は「北設にベッドがなくなると入院は新城市民病院になる。有床診療所で何とかできないか」、県保健所は「残念だが町の計画を尊重したい」との意見があった。

第一期4年間の町政に対する実績について

問 町長の公約に対する自己評価が90点とのことだが、具体的に伺いたい。

答 町長

従来からの課題の積み残しへの対応、第6次総合計画等を町民参加により策定、町長室開放、12カ所においてん家開所、

問

公約は住民との信頼関係の上に成り立つもの。公約である「認定こども園、保育料の無償化の検討」を何故やめて新保育園の建設を優先したのか。

問

町長は公約の中で「人口減少に伴い地方交付税も減額、財政調整基金も大災害の発生や借金返済のために必要、3600人程の町に東栄コンパクトシティ整備や複合福祉タウン構想など本当に必要か」と町民に

答 町長

箱物行政をすべてダメと言ったつもりはない。必要とするものは建設したい。

問

町長は箱物行政に對し税収3億円の町で、大規模な箱物建設は許されないと膨大な維持費もかかると明言している。現在このことをどのように考えているのか。

答 町長

認定こども園は東栄町では適さないと判断した。保育料無償化は国の制度で10月より実施されるため、半年間は保育料をいただく状況である。

問

問いかけた一節について見解を伺いたい。

答 町長

今回の医療センター等と福祉タウン構想は異なる。

問

町長は公共施設の集約化を進める東栄コンパクトシティ構想に着手と新聞にあったが、当初反対ではなかったのか。方針転換したのか。

答 町長

決して方針転換ではない。本郷地域において桜平地区のみが中心地ではない。

問

新庁舎建設を旧本郷校舎跡地に集約とあったが建設するところか。

答 町長

総合計画にもない。財政的にも無理と政的にも無理と思っ

問

公約である「村上孝治の財政改革5カ条」を発表し、徹底した事業仕分けが必要ということだったが、その後の経過はどうか。

答 町長

経常経費を含め、なかなかすべてを切れない状況である。病院問題の解決が必要である。

問

公約の中で実行に移されていない保育料の無償化、ミニバスの導入、集落カルテの作成、地域支援、給食費の無償化、行財政改革など今後どのように進めるのか。

答 町長

公共交通の有り方を来年度から計画を進める。地域支援課の職員確保が十分でないため対策を講じ進める。給食費の無償化は、町村会でも議論したが結論は出なかった。



町議会を傍聴しませんか

議 会定例会は、初日の本会議で議案が上程され、2つの常任委員会の審議を経て、最終日の本会議で採決されます。また、議員からの「一般質問」も行われます。本会議、委員会の様子はどなたでもご覧いただけます。議会事務局で受付をし、傍聴席で議会の様子をご覧ください。なお、録音、写真撮影等はご遠慮いただいておりますのでご了承ください。



新しい議会体制となり、また議会だよりだけではお伝えできない内容もありますので、ぜひ傍聴してみてください。

修正

『議会だより』No.125

P.7 伊藤久代議員の一般質問

冒頭に「1500万円ほどの補正」とありますが、正しくは「150万円ほどの補正」ですので訂正します。

令和元年6月定例会の開催日程(予定)



6月定例会は、**6月7日(金)から6月18日(火)**までの会期で開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もあります。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。(電話 0536-76-0505)

6月 7日(金)	本会議 (提案上程・説明・質疑)
6月12日(水)	本会議・一般質問
6月13日(木)	総務経済委員会
6月14日(金)	文教福祉委員会
6月18日(火)	本会議 (委員会報告・討論・採決)

発行責任者
議長 原田 安生

委員 浅尾もと子

副委員長 森田 昭夫

委員長 伊藤真千子

編集委員長 山本 典式

統一地方選挙が終わり、やっといつもの日常生活に戻りました。総務省発表の選挙結果を受けて、新聞の見出しには「無投票や定数割れ、町村長議選で続出」とありました。一方、別の紙面には選挙を通して、ある過疎の村の現状が特集されていました。それは、若者が立候補したくても立候補できない深刻な事情を抱えていることの問題です。

当町は、町長・議員選のどちらも80%以上の投票率でした。議会も正副議長並びに委員会構成も決まり、6月議会に向けて始動開始です。この「議会だより」の編集委員も2名の女性議員が加わり、4名の委員で担当します。限られた紙面ですが、特に「町政について正確な情報を皆さんに伝え知っていただくこと」が大切ではないかと思ひ、「読みやすく、分かりやすく」を心がけていきます。任期は2年間、よろしくお願ひします。

編集後記



とうえい議会だよりは、エコマーク認定の再生紙と環境に優しい植物油インクを使用しています

発行/東栄町議会・議会だより編集委員会

〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505